

議会レポート
「やっちゃん通信」
令和5年1月号

鶴ヶ島市議会議員

杉田やすゆき 議会報告

未来世代のために

声をチカラに
声をカタチに

杉田 やすゆき

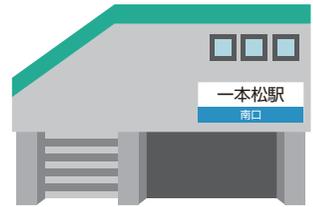
5つの
「ために」

★1 鉄砲道の交通危険
回避のために…



都市計画道路
「鶴ヶ島・日高線」の延伸を!!
(新町小学校 南側道路)

★2 人口増加施策
のために…



一本松駅の
南口開設の実現を!!

★3 少子化対策
のために…



特別出産祝い金の支給を!!

★4 多子世帯の支援
のために…



特別手当の支給を!!

★5 三世同居世帯の
支援のために…



特別手当の支給を!!



いつも変わらぬご支援を賜りましてありがとうございます。
早いもので、今年も締めくくりの、12月議会が終わりました。
ここで皆様に、本議会で可決した議案の中で、市民の皆様に特
に関係のある事項をお知らせいたします。
レポートがお手元に届くころには、輝かしい新年をお迎えにな
っていることとお慶び申し上げます。
本年も、未来世代のために「声をチカラに 声をカタチに」
頑張っまいります。

その
1

一般質問

結婚～出産～子育てサポートの完結を

「少子化」という言葉が日本社会に出始めたのは、1970年代の後半からで、子どもの減少は、50年が経とうとする今、克服どころかなお減り続けています。

この間、我が国では1999年に新エンゼルプラン、2003年に少子化社会対策基本法、次世代育成支援対策推進法等が制定され、これらに基づき様々な施策が講じられてきました。本市でもこれらに沿った施策が講じられ、その中でも9年連続待機児童数「0」（国基準）の達成は大いに評価するところです。また、旧「鶴ヶ島版ネウボラ」事業、改称して「子育て世代包括支援センター」の設置や、その後の出産時の支援策である「多子世帯応援」事業も大いに評価するところです。

しかし、国でも市でも様々な少子化克服のための対策が講じられましたが、子どもの数は今なお減り続けています。

これらの対策は、現在生まれている子どもへの支援に力点を置き、社会全体で支援する安心感の醸成にはなりましたが、肝心の出生数の増加にはつながっていません。

何より肝心要の出生数を増やす施策が必要であり、結婚支援こそが少子化克服の鍵になると思います。

そこで、本市の現状と一歩前に出た結婚の支援策について伺います。

質問に対する市の答弁

「結婚支援については、男女の出会いの機会を多く創出するため、市単独ではなく、近隣地域を含めた広域的な取り組みが効果的であると考えます。また、短期間では結果が表れにくく、継続的な取り組みが必要だ。

このため、結婚支援については、今後も広域による事業を中心として進めてまいります。引き続き、結婚支援の取組自体を多くの市民に認知していただけるように努め、市民の結婚、出産を後押しします。

私からの強い要望として

「市内に6箇所ある市民センターに「結婚相談支援」窓口の設置を要望しました。
(結婚支援のおせっかい役、仲人役、恋のキューピット役の機能を持った窓口)

? 一般質問とは

年に4回ある定例議会に議員から、市に対して政策や施策事業の進捗の程度や市の事務の内容や窓口対応など、行政全般に対して質問を行使出来る権利です。

その
2

私の議員活動での主な成果(予算を獲得!!)

令和2年度より、小学校卒業生に卒業記念品として、 自転車用ヘルメットを支給!!

※これは、平成29年度以降、たびたび要望してきた、
私の一般質問での質問が成果を結びました。

中学校での部活の遠征時や授業としての社会体験での自転車の利用など、日常でのヘルメット着用で生徒の安全を確保します。



「多子世帯応援事業」(予算を獲得!!)

※これは、過去、私の計7回にわたる「少子化克服のために」と題した一般質問での成果です。私の「5つのために」の項目にあげている念願が叶いました。

令和3年度より、新生児に応援金を支給します。

第2子目・・・1万円

第3子目以降・・・5万円



その
3

受験生や修学旅行生等に抗原検査キットを無償配布します

令和4年12月より、受験生、修学旅行生、校外学習参加生徒、スキー教室に参加の生徒と随行教員に対しての無償配布です。



その
4

出産・子育て応援事業 (予算額 65.260千円)

世界情勢の変化が著しい今日、物価高騰の荒波が打ち寄せています。
出産費用や子育てや生活費にも影響している物価高の救済措置です。

※令和5年1月1日より、

妊婦一人当たり・・・5万円

新生児一人当たり・・・5万円

が支給されます。



その
5

子育て世帯物価高騰対策支援臨時給付金給付事業

(予算額 103.339千円)

現下の、エネルギー・食料品等の物価高騰に直面している子育て世帯に対し、対策支援金を給付します。

対象者 高校生以下・・・10,000人分

新生児・・・250人分

給付金 児童一人当たり・・・10,000円



その
6

商店街活性化事業

(予算額 543千円)

電気代高騰の折、各商店会で設置している商店街街路灯にかかる電気代の一部を補助します。

(市内には、3つの商店会があります)

その
7

女性センター空調更新事業

(予算額 60.474千円)

永年使用している空調機の機能が低下しているため、更新工事を行います。
工事後は、快適な環境となります。

杉田やすゆき 後援会

〒350-2227 鶴ヶ島市新町4-19-3

TEL&FAX 049-285-0765

<https://杉田やすゆき.net>

杉田やすゆき

検索



未来の鶴ヶ島をつくる皆様の、ご支援をお待ちしております。